

ならチャレンジレター 令和3年度 第3号

奈良県では、福祉・介護人材の確保を目的として、平成28年12月から「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の運用を開始しました。職員の人材育成や処遇向上等につながる基準をクリアした福祉・介護事業所を知事認証し、公表する制度です。学生や求職者の方が、知りたい情報を随時閲覧でき、福祉・介護の仕事を選択でき、安心して就職できる事業所を広く紹介してまいります。

チャレンジ事業所支援 活用先インタビュー

認証制度に出会ったきっかけは何ですか？

今期は創業から6期目にあたりますが、創業間もない時期に、奈良県からのメールで認証制度を知り、合同説明会に参加したことがきっかけでした。大規模な社会福祉法人が取得するものというイメージがありましたが、小規模な株式会社でも取得できるものだと知り、認証取得に向けて取り組み始めました。



企業理念

関わるすべての一人一人が

晴れの日も雨の日も

たのしみことを忘れずにワクワクを。

株式会社
協 阪

【法人名】株式会社協阪

【形態】訪問介護

【所在地】奈良県奈良市

【対応者】管理者 協阪 麻水 様

チャレンジ事業所支援は活用できましたか？

研修計画などは、雛形や見本があったため、ゼロベースで作成する必要がなく、スムーズに準備できました。はじめはゴールが見えず、半信半疑で研修計画・規程などの準備を進めていましたが、目指すべき完成形のイメージが明確になりました。

認証制度は活用できていますか？

認証制度で自社をよりよくしたいと考えており、制度を上手く活用できていると思います。毎年の経営方針書に、そういった内容を盛り込み、認証基準をベースに10年後の福利厚生を考える取り組みも行っていきます。また、組織と人に関わる法人の取り組みをわかりやすく可視化することができました。

人材育成の工夫や、運営の特徴はどのような点ですか？

毎年、認証制度の枠組みに沿って研修計画を見直し、実行しています。今後はマンネリ化しないよう、中身の研修内容だけを変えるのではなく、人材育成の枠組みや方向性も定期的に見直していきたいと思っています。

また、昨今ではオンラインツールも積極的に活用しており、認証項目の一つである「面談」にもこうしたツールを取り入れていきます。コロナ禍であってもコミュニケーションを止めることなく、一人ひとりの働き方に応じた対応ができると考えています。

想い：「やりたいことやキャリアについて、スタッフとしっかり対話する」

長らく介護業界では、「やりたいこと」をイメージしづらく、特に訪問系サービスでは、職員が長期休暇を取得しにくい課題がありました。当社では、社員と共に現在・将来のキャリアを考えています。将来カフェを運営したい社員とは、実現に向けた道のりや、当社でも実現できる工夫を考えるなど、「福祉」や「介護」という枠だけにとらわれない柔軟な発想を大切にしています。 管理者 協阪 麻水

<チャレンジ事業所支援の流れ>

チャレンジ宣言

県ホームページ掲載

無料初期診断・相談

認証取得に向け準備

認証取得



小規模事業所向け認証制度
チャレンジ事業所に申請
します。(別紙申出書により
お申出下さい)



奈良県のホームページに認
証にチャレンジしている事
業所である旨を掲載します。



専門家(県からの委託)が
ご訪問し、認証取得に向け
た無料相談に対応します。



認証取得に向けた体制整備、
制度の周知発信などに取り
組んでいただけます。



認証基準をクリアすること
で、認証事業所となり、改
めて県HPに掲載いたします。